# 振動記入例

#### ※ 本届出書は、正本にその写しを一部添えて提出してください。

様式第3(第6条関係)

特定施設の種類及び能力ごとの数 変更届出書

令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

※ 法第8条第1項の規定により、「当該事項の変更に係る 工事の開始の日の30日前まで」の届け出となっています。

大田原市長 〇〇 〇〇 様

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

届出者 〒100 - 0000

東京都千代田区〇〇〇

○○工業株式会社

取締役社長 東京太郎

※ 氏名(法人にあっては代表者の氏名)の記入または本人(法人にあってはその代表者)の署名となります。

振動規制法第8条第1項の規定により、 特定施設の種類及び能力ごとの数 特定施設の使用の 方法 の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名 称	○○工業株式会社大田原工場	※整理番号			
工場又は事業場の所在地	〒324-0041 大田原市本町○○○	※ 受理年月日	年	月	日

				<u>^</u>	使用開	始時刻	使用終	· ·了時刻
特定施設の種類	型式	公称能力	変更前	変更後	変更前 (時·分)	変更後 (時·分)	変更前 (時・分)	変更後 (時·分)
2 圧縮機	CD-45	8 kW	2	5				

備考(省略)

振動規制法第8条第1項の規定に基づく「特定施設の種類及び能力ごとの数変更届出書」の要否について

振動規制法第8条第1項の規定では、変更が「環境省令で定める軽微なもの」であるときには必ずしも届け出ることを要しない(**届け出ることを拒むものではありません**ので届け出ていただいてもかまいません)こととなっています。

届け出ることを要しない「環境省令で定める軽微なもの」とは、次のとおり定められています。

特定施設の種類及び能力ごとの数を増加しない場合。

なお、この届け出は「種類及び能力ごとの数の変更」ですから、次の場合は届け出を要します。

・ 特定施設の更新など既に届出た台数以内の変更であっても、能力が異なる施設を設置する場合。 上記の場合を含め、届出の要、不要について次のとおりまとめましたので、参考にしてください。

#### 1 届出を要する場合

一曲田と女子も物口	
事例	理由
当初、「特定施設設置届出書」として圧縮機を2基届け出て	種類ごとの数が増えるため。
いる。	
今回、新たに3基の圧縮機を設置することとなった。	
当初、「特定施設設置届出書」として2.2kWのチッパーを	能力ごと (3kW のチッパ―) の数が増えるため。
1基届け出ている。	
今回、3kWのチッパーと更新することとなった。	
当初、「特定施設設置届出書」として10kWの圧縮機を2基	圧縮機の数(種類ごとの数)が減るが、能力(こ
届け出ている。	の場合原動機の定格出力)の異なる圧縮機が新たに
今回、15kWの圧縮機1基と更新する。	設置される(能力ごとの数が増える)ため。
当初、「特定施設設置届出書」として圧縮機を2基届け出て	直近の届出(当初の「特定施設設置届出書」)で
いる。	は、圧縮機しか届け出られてなく、機械プレスが新
今回、機械プレス1基を設置することとなった。	規に設置される(種類ごとの数が増える)ため。
	※ なお、この場合において、機械プレスを「特定施設
	設置届出書」の届出対象としないのは、法第6条第1
	項で「工場又は事業場(特定施設が設置されていない
	ものに限る。)に特定施設を設置しようとする者」が「特
	定施設設置届出書」の義務を課せられているため。

## 2 届出を要しない場合

2 油山で安しない場合	
事例	理由
当初、「特定施設設置届出書」として圧縮機を2基届け出て	種類ごとの数の減少になるため。
いる。	
今回、圧縮機を1基廃止することとした。	
当初、「特定施設設置届出書」として機械プレス1基と圧縮	種類ごとの数の減少になるため。
機を2基届け出ている。	
今回、圧縮機を全て廃止することとした。	
当初、「特定施設設置届出書」として機械プレス1基と圧縮	この変更により、当該事業場には振動に係る特定
機を2基届け出ている。	施設が全てなくなったので、「特定施設使用全廃届
今回、機械プレスと圧縮機を全て廃止することとした。	出書」として届け出ることになるため。
当初、「特定施設設置届出書」として圧縮機を2基届け出て	種類ごとの数及び能力ごとの数に変更がないた
いる。	め。
今回、当該圧縮機を2基とも従前と同能力(この場合原動機	
の定格出力)のもの更新することとなった。	

万川 					(変更	前)		(変更後)	( <del>騒音</del> ・振動)		
種類	別表定	第1に掲 の 項		定施 号	2			2			
<u>_</u> "	特员	官 施 設	きのク	名 称	圧縮	機		圧縮機	※ 記載内容は、届出書 と一致させてくださ		
との	特员	官 施 設	きのき	型 式	C D—	4 5		C D—4 5	い。		
数•	特:	定施	設の	) 数	2			5	等を添付してください。		
構造		E 施 設 重量 1			8 k	W		8kW			
使		着手子			年	月	日	令和○年○月□日	※ 「工事着手予定年月 日」は、届出の日より		
	工事	完了子	定年	月日	年	月	日	令和○年○月□日	30日以降の日付と なっていることを確 認してください。		
用	使用	開始子	定年	月日	年	月	日	令和○年○月□日	mb C く/ことい。		
	事業	場(工場)	の操業	美時間	8時30分~	17時3	80分	変更無			
0	1日	の使用	時間(距	寺間)	9時	間		8時間	※ 直近の届出と比較 して、「使用の方法」		
方	1回	の使用	時間(距	寺間)	9 時間			8時間	が変更されている場合には、該当する箇所		
	1日の使用回数(回)				1回			変更無	に変更後の状況を記 入してください。		
法	季	節	変	動	なし			変更無			
騒音又は振動の防 止 の 方 法		音 又 は: の方			距離》	<b>域衰</b>		距離減衰			
参	騒音	設計	施	工者	. }						
考	『(振動)	工事	予定	費用	⟨ のみによ・	ってい <i>い</i> 想定	るので で作成	動の防止を「距離減衰」 、特段の「振動防止施設」 にています。よって、本 います。	工場全体の敷地面積		
事	防止	資金	è 内	訳					7,5 6 0 m <sup>2</sup>		
項	施設	工事着	手予定 <sup>4</sup> 年		工事完了	予定年 平 月		使用開始予定年月日年 月日			
添	3		工場) 0	り建物の	の配置を明示	すると	とも	こ、特定施設の位置を生	<b>片書</b> すること(縮尺又は		
付	距離を記載すること)。 2 事業場 (工場) 付近の見取り図										
書	(2)										
類	類 3 騒音(振動)の発生及び騒音(振動)の防止に係る操業の系統を説明する書類。 4 騒音の大きさ(dB)に関する説明書。										

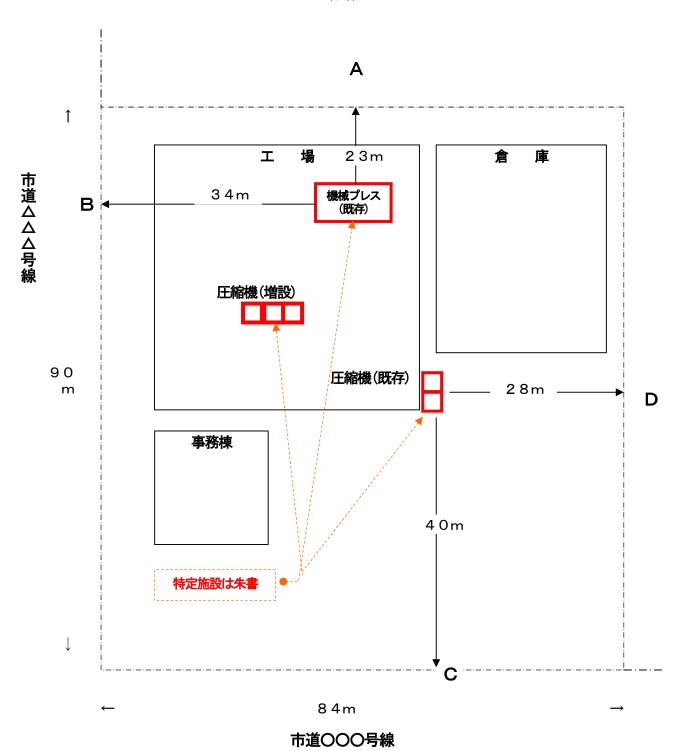
#### 参考事項

記載上の注意

- 1 届出等に係る工場、事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。
- 2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

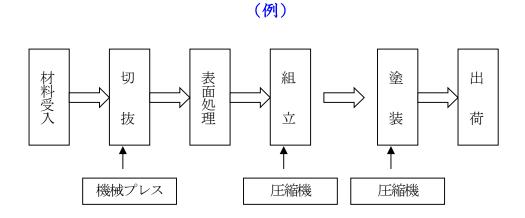
届出	等 担 当 者 絡 先 )	氏名 美	原三郎	所 属 <b>※</b> 部課名	<b>総務部管理課</b>	電 F			-1111( <del>/</del> -1112	CF
公害	防止管理者	·····································	↑ 要		·····		区分 (こおける/			
公害	防止責任者	※ 県条例		こより、特定旅	施設を設置する事業 する( <b>届出不要</b> )				任して	いる
従業貴数	000A	主 要 (	○○部品		日本標準産業分数 小分類番号・項	頁目 ※	52 金属ブ 総務省編 ージを参照	統計局		4~
特定施	設メーカー名	機械プレニ圧縮機(	ス 〇〇重工業( 株)〇〇製作所	株)	処理施設メーカー	一名				
特定施設	特定施設が関係する製造工程の概要  別紙のとおり  ※ 添付書類として、特定施設が関係する工程表等を添付することとなっていない場合は、本欄に工程の概要を記入してください。									
特定設置		用 途 <b>準</b> 地 域	工業地域 敷 面 和	地 (既存面積 積 等 (新規・増		m <sup>2</sup> ) 50 m <sup>2</sup>	登記地目		宅地	)
特定	14 =n. 44 -	新築 増改築 (床面積 1,760 m²) (床面積 m²)								
設置	施設等をする建物		<b>1,7</b> 60 n			m <sup>2</sup> )				
工場	する建物	(床面積	1,760 n	m <sup>2</sup> ) (床面積	質関係特定施設 別設置年月日	m <sup>2</sup> )		年	月	目
工 場 当 初 i めっき	する建物       ・事業場	(床面積		n²) (床面積 水質 当 を	[関係特定施設	m²)		年	月	日
工当 めに 排(届	する建物 ・事業場 設置年月日 施設の設置等	(床面積 1 要 ② 不要 複数の排水口 排出水の៛	和 〇 年 ○ 月 [ 事前協議 要のとき 対象物	m <sup>2</sup> ) (床面積	[関係特定施設	協議終了年	5月日	年	月	) )
工当 めに 排 (届する)	する集ま年月の前施事株係に大条株の付	(床面積	和 〇 年 〇 月 [ 事前協議 要のとき 対象物] があり、異なる用水路 排出先の用水路名 ( 排出先の河川名 ( 有 締結有 4	m <sup>2</sup> ) (床面積	で関係特定施設 の設置年月日 にる場合にはその全でに 設等の 1 要	協議終了年	5月日	1	協議済協議予定	)

(例)



住宅地図等付近の状況が分かる地図に、工場の敷地境界線から200mの範囲を明示した図面 (縮尺又は距離を明示すること)

#### 添付書類3 振動の発生及び振動の防止に係る操業の系統を説明する書類



#### その他の添付書類 現地案内図

住宅地図等を使用するなどし、工場(事業場)所在地及びそこに至る経路が分かるような案内図

### その他の添付書類 特定施設の仕様書

設置する特定施設の型式、規模、能力及び騒音が分かる書類 (製造元が発行する仕様書のようなものが望ましい)

#### その他の添付書類 振動防止の方法を補完する書類又は資料

必要に応じ、振動防止の方法の詳細を説明したり、参考にしたりする書類又は資料